

Microsoft Power Automate ご紹介資料



2021年3月

日商エレクトロニクス株式会社
DX第二事業本部

Power Automate とは？

Power Automateは、Office 365やAzure、カスタムアプリケーションを統合するローコードプラットフォーム（Power Platform）の中の、一つのソリューション。

Microsoft Power Platform



Power BI
業務分析



Power Apps
アプリケーション開発



Power Automate
業務の自動化



Power Virtual Agents
インテリジェントな
チャットボット



Dataverse



データ
コネクタ



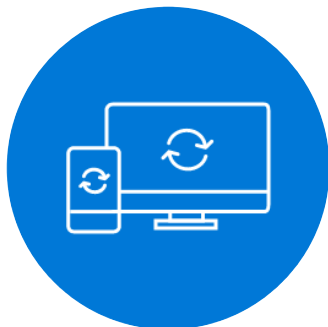
AI Builder

Power Automate とは？

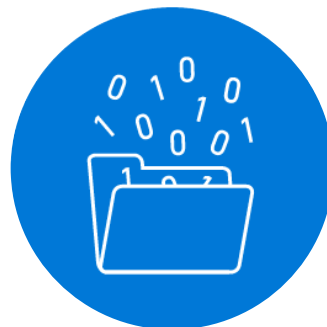
Power Automate は非開発者がよりスマートに
仕事できるよう、ワークフローを自動化するサービス



通知を受信



ファイルをコピー



データを集計



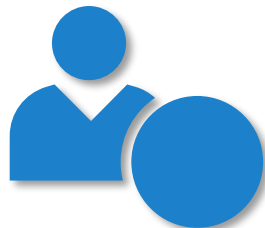
承認プロセスを自動化

すべての人が使うことを目指したサービス

Power Automate は誰でも使えるようにデザインされている



エンドユーザー



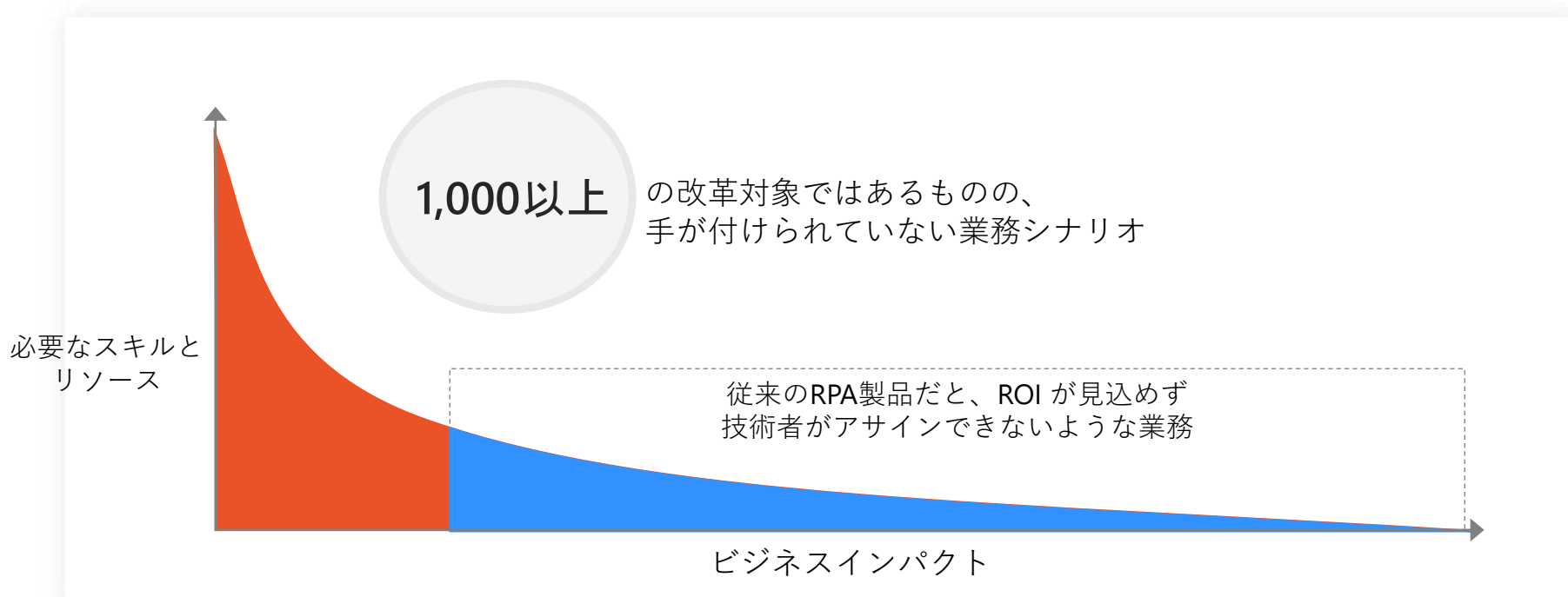
経験豊富な開発者



IT管理者

これまでRPA化できなかったところを、RPA化する

Power Automate を活用することで業務の隅々まで自動化が可能



Power Automate が選ばれる5つの理由

①クラウドベースで、すぐに利用可能

開発環境の準備や、サーバーの準備、ソフトのインストールは不要です。
必要なものはWebブラウザが動作するPCとインターネット回線です。



- ※Power Automate Desktop利用の場合は、PC操作を行う都合上インストールが必要です。
- ※ライセンスはOffice 365/Microsoft 365 E1/E3/E5/ Business ユーザーの方は追加不要です。
- ※クラウドフローのみ、デスクトップフローの両方を利用でライセンス料金が違います。

②お得なライセンス：ユーザー単位のライセンス

Office 365/Microsoft 365
E1/E3/E5/ Business ユーザー

追加ライセンス不要

- クラウドフローが利用できます
- コネクタはスタンダードのみ
※ PREMIUMと記載のあるものは利用できません
- オンプレミスゲートウェイは利用できません

コネクタの全てを使う

Power Automate per user plan

1,630円/月

- クラウドフローが利用できます
- コネクタは PREMIUM 含めた全て
- Office 365を未購入でも利用できます

全ての機能を使う

Power Automate per user plan with attended RPA

4,350円/月

- 二つのフローが利用できます
- Office 365を未購入でも利用できます
- 無人型PCでの利用は
Unattended RPA add-on
16,310円
が必要です

②お得なライセンス：フロー単位のライセンス

クラウドフローを全員で使う

Power Automate per flow plan

54,360円/月

- 5件のクラウドフローが利用
できます ※追加購入可
- デスクトップフローは利用
できません
- Office 365を未購入でも利用
できます

※ライセンスの価格は2020/12現在、Microsoft社のWebより

③容易な開発：ローコードプラットフォーム

Power Automateではローコードプラットフォームで作成するためコードの記述がほぼ不要です。
作成画面がわかりやすくなっており、深い学習も必要なく直ぐに作成出来ます。

```
AutomaticArchiveNavigator.lua C:\Users\Public\Documents
1
2 --
3 AutomaticArchiveNavigator
4 -- This module produces a talk archive banner, together with an auto-generated
5 -- generated list of navigation links to other archives of the page in
6 -- question. It implements {{Automatic archive navigator}} and
7 -- {{Talk archive navigation}}.
8
9
10 local yesno = require("Module:Yesno")
11
12 -- Helper function
13
14
15
16 local function makeWikilink(page, display)
17 if display then
18 return string.format('{{%s|%s}}', page, display)
19 else
20 return string.format('{{%s}}', page)
21 end
22 end
23
24 local function escapePattern(s)
25 -- Escape punctuation in a string so it can be used in a Lua pattern.
26 s = s:gsub('%p', '%XX%')
27 return s
28 end
29
30
31 -- Navigator class
32
33
34 local Navigator = {}
35 Navigator.__index = Navigator
36
37 function Navigator.new(args, cfg, currentTitle)
38 local obj = setmetatable({}, Navigator)
39
40 -- Set inputs
```



Power Automate

On new email

フォルダー: Inbox

詳細オプションを表示する

Apply to each Attachment on the email

* 以前の順番から出力を選択

添付ファイル x

Create file

* フォルダのパス: /Email attachments from Power Automate

* ファイル名: 添付ファイル ... x

* ファイル コンテンツ: 添付ファイル ... x

①

アクションの追加

③ 容易な開発 : Teamsへの通知もラクラク設定

メッセージを投稿する (V3) (プレビュー)

* チーム
チーム ID を追加します

* チャンネル
Teams チャンネル ID の追加

* メッセージ
Font 12 B I U [Rich Text Icons] [Link Icon] [Code Icon]
メッセージの本文。

詳細オプションを表示する

メッセージを投稿する (V3) (プレビュー)

* チーム
MicrosoftPowerPlatform

* チャンネル
00_お知らせ

* メッセージ
Font 12 B I U [Rich Text Icons] [Link Icon] [Code Icon]
本日はご参加ありがとうございます。Power Automateの手軽さを実感して頂ければと思います。

詳細オプションを表示する

メッセージを投稿する (V3) (プレビュー)

* チーム
MicrosoftPowerPlatform

* チャンネル
Teams チャンネル ID の追加

- 00_お知らせ
- General
- カスタム権の入力

詳細オプションを表示する

- ✓ 動作に必要な項目（チーム、チャンネル、メッセージ）は予め用意されており、これらの値を設定するだけで動作します。
- ✓ チームやチャンネルの項目はTeamsで定義されているものが、選択項目として表示され、選択するだけで入力できます。

③ 容易な開発：連続した処理も数クリック

Create item

* サイトのアドレス

* リスト名

詳細オプションを表示する



メッセージを投稿する (V3) 2 (プレビュー)

* チーム

* チャンネル

* メッセージ

Font 12 B I U [Rich text editor icons]

メッセージの本文。



Send an email

* 宛先

* 件名

* 本文

SharePoint item could not be created. Possible causes could be the access rights on the SharePoint list.

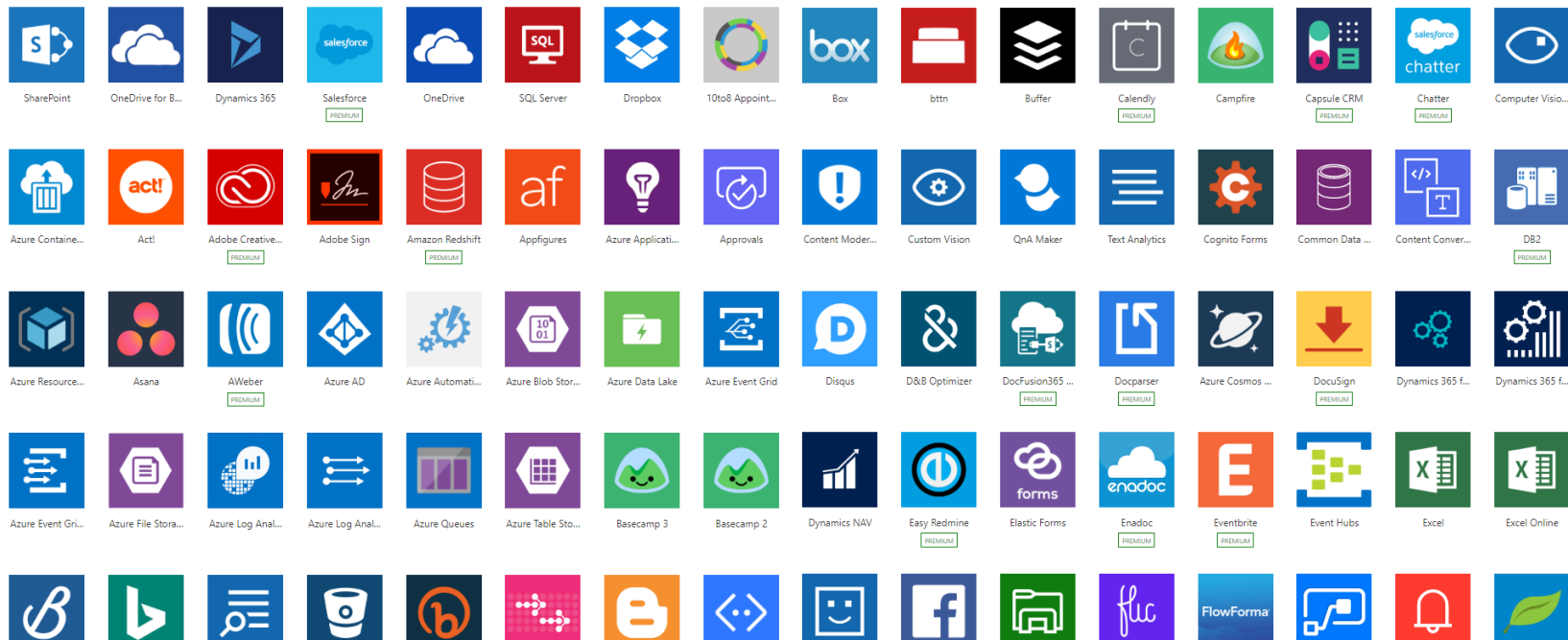
- ✓ 処理を連続させる場合も、部品を数クリックで繋げるだけで作成できます。
- ✓ 画面は見慣れたアイコンで直感的に操作可能。

③ 容易な開発：他社のクラウドサービスとの連携

Power Automateの特徴の一つが、他社サービスも含めて400種類以上あるコネクタ群です。

Power Automateではこのコネクタを組み合わせることで作成します。

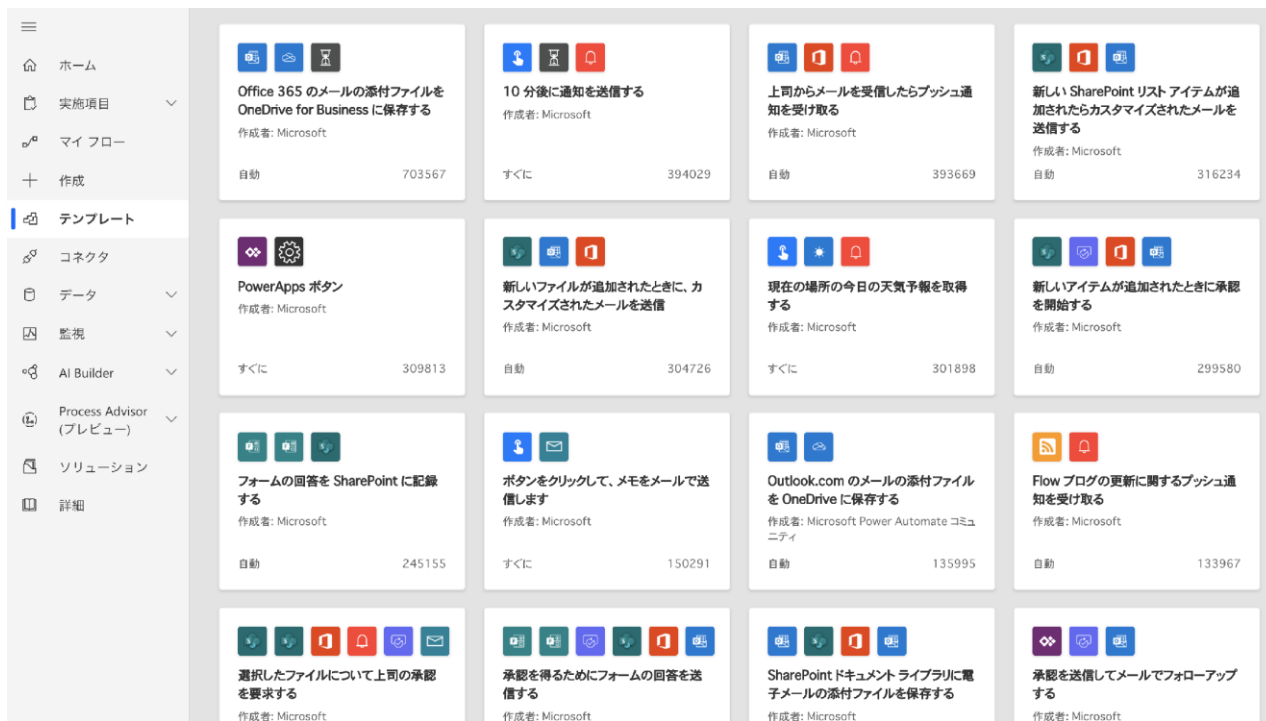
サービス毎に接続するための部品を、作成しなくて良いのが大きな強みです。



③ 容易な開発 : 豊富なテンプレート

コネクタを組み合わせることで予め考えられる処理が用意されているのが、テンプレートです。

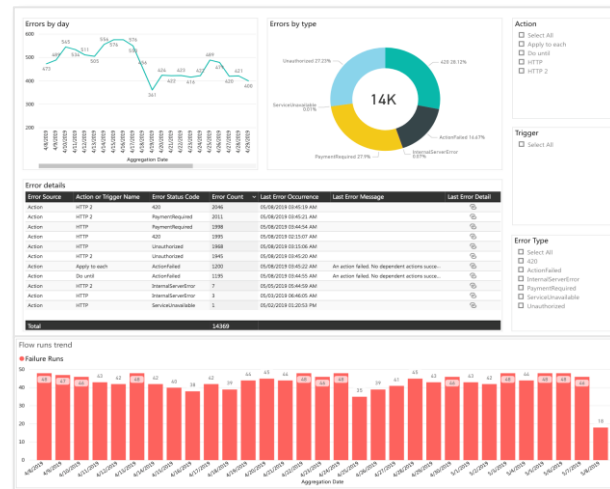
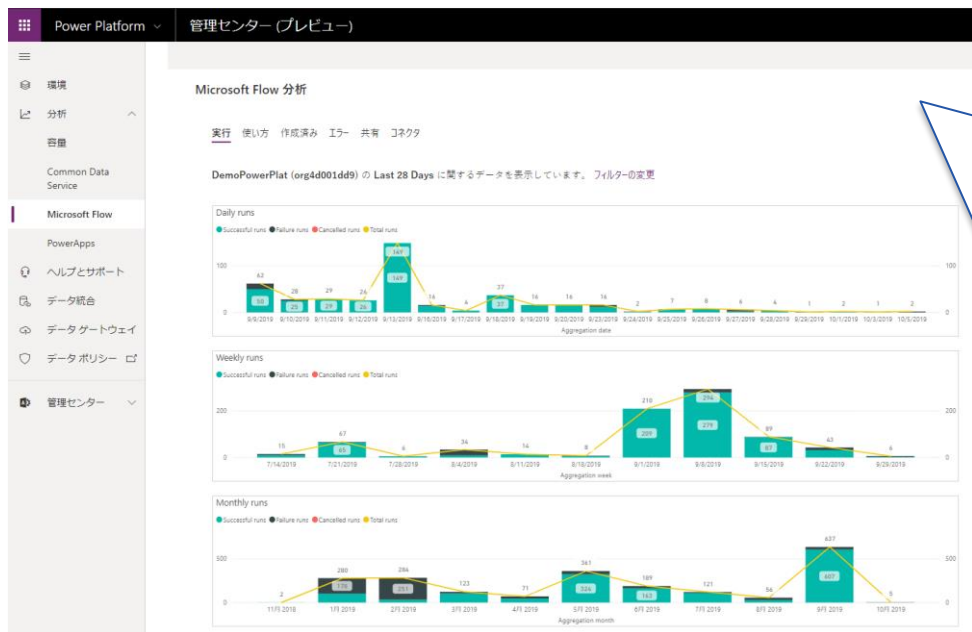
テンプレートの中から、自身の業務に合うものを選択し、値を入力するだけで作成は完了します。



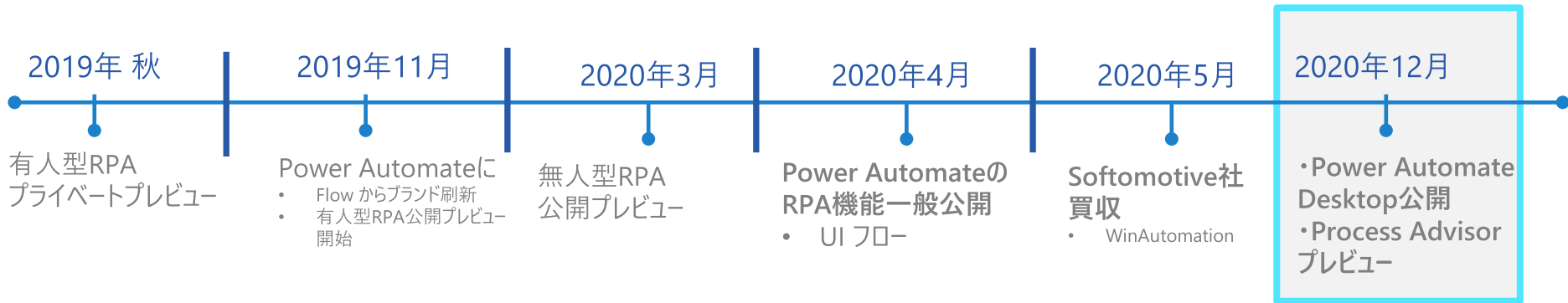
④管理性：管理センターからしっかり管理

管理者で直近 28 日間にわたるエラーの数も確認可能

特定のエラーをドリルダウンし、実際の入力と出力を確認



⑤進化のスピード : Power Automate - RPA 機能の進化



21 地域



43 言語に対応

(補足) Power Automate、もっと詳しく学んでみませんか？

日商エレの Power Automate ハンズオントレーニングコース

- ✓ RPA専門のトレーニングサービス
- ✓ ベテランRPA講師が、少人数で教えるので質問しやすい雰囲気。
- ✓ オンライン（Zoom）開催で全国どこからでも参加可能
- ✓ トレーニングで使うMicrosoftの環境は日商エレで用意。
- ✓ インターネットに接続できれば、ご自宅のパソコンからでも参加可能。
- ✓ 紙のテキストブックをプレゼント。手元で確認しながら受講可能



↓詳細はコチラ↓

<https://digital-labor.nissho-ele.co.jp/services/academy/course-microsoft-power-automate/>

(補足) 日商エレのRPA関連サービス

デジタルレイバーコンサルティングサービス

ヒトとデジタルレイバーが一緒に働ける環境を実現するためのノウハウを提供

RPA・AI-OCRインテグレーションサービス

お客様のニーズに合わせ、最適なソリューションを組み上げるシステムインテグレーションサービス

ロボットファクトリーサービス

ロボット製作するための開発支援サービス

RPA教育サービス

お客様ご自身がRPAを利用したロボット製作するための教育サービス

ロボットメンテナンスサービス

エラー検知によるロボットの故障をお知らせするとともに、ロボットを管理サービス

↓お問い合わせはコチラ↓

ms-dl-sales@nissho-ele.co.jp



お問い合わせは、ms-dl-sales@nissho-ele.co.jp